令和４年度　学校教育に関するアンケート結果

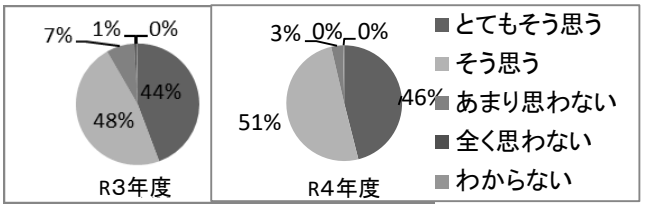
令和５年２月２８日
西東京市立本町小学校
校 長 中 村 千 佳 子

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。「学校教育に関するアンケート」の集計及び分析をいたしましたので、ご報告いたします。お寄せいただきました回答は、「学校評価」や「授業改善推進プラン」等の資料として活用し、来年度の教育活動に反映させてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【肯定　　%】は、肯定的評価（とてもそう思う、そう思うの割合の合計）です。

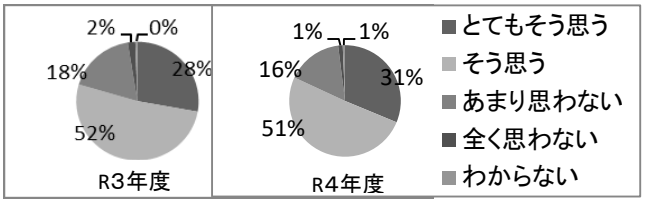
＜児童の様子＞

【質問1】　お子さんは楽しく学校に通っていますか。



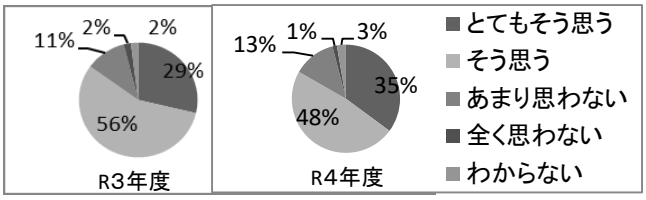
【肯定97%】コロナ禍ではありますが、日常の学校生活やさまざまな行事において、児童の笑顔輝く姿を目指し、内容を工夫してきました。今年度は保谷中学校とも連携し、中学校の校庭でも遊ぶ機会を設けました。昨年度に比べて肯定的評価が５ポイント上昇したことは大変喜ばしいことです。本校では、１学期の始めには休み時間は教員も外に出て子供と一緒に遊んだり、夏休み明けにはスタートアップ期間を設けてゆるやかにスタートしたりすることで、児童理解を深め、児童が安心して学校生活が送れるよう取り組んでいます。また、毎学期クラスの児童全員と面談する取組を行っています。これらの取組を通して、担任と児童の信頼関係を築くよう努めてきました。来年度も「笑顔が輝き活力ある学校」を目指し、工夫改善を図っていきます。

【質問2】　お子さんは意欲的に学習に取り組んでいますか。



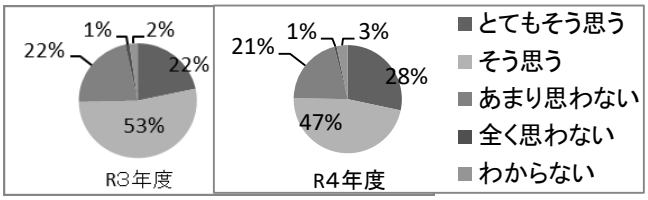
【肯定82%】今年度は学級経営について国語科の学習を中心に据えて研究発表を行いました。「自分の思いや考えを伝え合い、互いに高め合える児童の育成」を目指し、対話を手立てに主体的に学習に取り組めるよう授業改善を行いました。その対話の基盤として「学級力向上プロジェクト」に全クラスで取り組み、児童が相互に関わり合いながらクラスの力を伸ばすための取組を考え、実行し、改善してきました。来年度も、児童がより意欲的に学習に取り組めるよう、校内研究を通して研修を行い、児童が安心して学び合える学校にしてくための工夫を行っていきます。

【質問3】　お子さんは基礎的な学習内容を理解していますか。



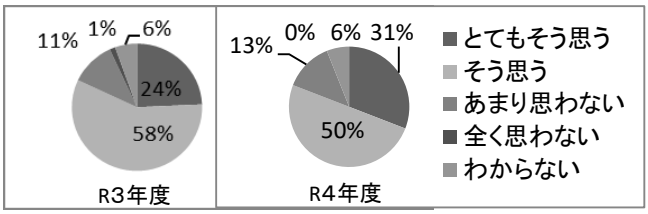
【肯定83%】一人一人の学習状況やつまずきを把握し、基礎的な学習内容が確実に身に付けられるようスモールステップを意識し、日々の授業を工夫しています。年に２回、東京ベーシックドリルを活用して習熟状況を診断し、補習に取り組んでいます。また、当該学年の学習内容の確実な習得を目指し、低学年は毎月、中・高学年は隔月で放課後にステップアップタイムを設定したり、学習イベントデーを設けて楽しみながら朝学習を行ったりしました。来年度も、基礎的な学習内容を楽しみながら身に付けられる取組を継続していきます。

【質問4】　お子さんは先生の話をしっかり聞いていると思いますか。



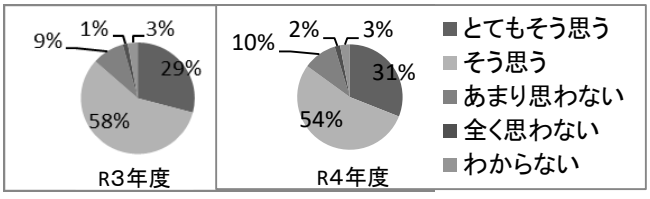
【肯定75%】「目を見て」「だまって」「考えて」の頭文字をとった「め・だ・か」の聞き方で話を聞くよう指導をしています。コロナ禍が続き、教員もマスク着用で授業を行うため、児童の集中力と聞く力が求められる場面が多い現状があります。研究発表会を終えて、現在はどの学級も大きな乱れはなく、教師の話を聞き、落ち着いて学習している様子が見られます。来年度も落ち着いて学習に取り組むことができるよう、「本町小学習スタンダード」をもとに、全学級で授業規律を整えていきます。

【質問5】　お子さんは授業が分かりやすいと感じていますか。



【肯定81%】新学習指導要領に基づいて、児童の知識・技能が確実に身につき、各教科の見方・考え方に基づいて思考力・判断力・表現力を生かして主体的に学べるよう、学習指導を工夫してきました。今年度は西東京市GIGAスクール構想がスタートして２年目になります。各学年で児童に身に付けさせたい力を整理し、次の学年を意識してその力を身に付けさせる取組を授業の中で行っています。来年度は、さらに有効な活用法を模索し、児童が主体的に授業に参加し理解が深まるよう、教員の研修も計画的に行っていきます。

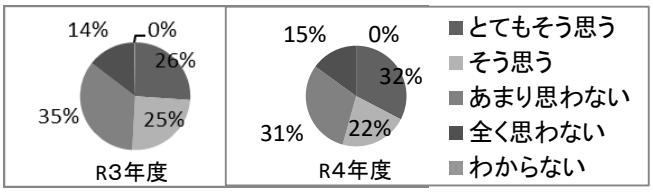
【質問6】　お子さんは、自分のことは自分で行い、友達と協力していると思いますか。



【肯定85%】学校では、３つの『あ』（あいさつ・あんぜん・あとかたづけ）を全校共通の合言葉とし、どの学年の児童も実践できるよう全教員で声をかけています。また、昨年度から実施している「朝のあいさつ運動」も、今年はあいさつの担当を代表委員と全クラスを全ての月に振り分け、年間を通して実施しました。すすんで気持ちのよいあいさつを行ったり、友達と協力したりするよい機会となりました。特別の教科道徳でも「親切・思いやり」「善悪の判断、自律、自由と責任」など、自分や友達のよさに気付き、認め合う心の育成に向けて計画的に指導を進めています。

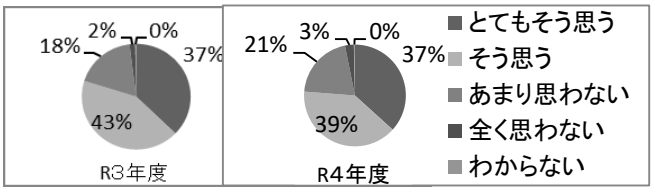
＜ご家庭へのアンケート＞

【質問7】　お子さんは進んで本を読んでいますか。



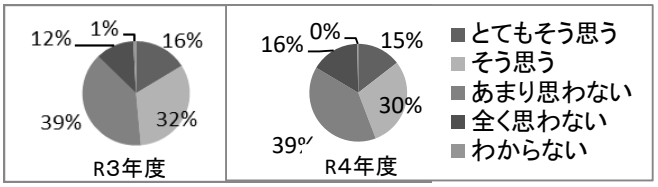
【肯定54％】子供たちの読書量が少ないことは、本校の抱える課題です。子供たちが家で読書よりもテレビやゲームに時間を費やしていることが【質問９】の結果から伺えます。今年度も月に二回「家読」の宿題を設定し、家で読書をする時間を作るようにしたり、読書旬間に図書委員会児童が各クラスで読み聞かせを行ったり、図書バックを机の横にかけ、いつでも読書のできる環境を整えたりすることで、読書を促してきました。コロナ禍で休み時間の利用を低学年（１～３年）・高学年（４～６年）で分けていましたが、来年度からは、本を借りたい人が毎日好きな時に借りられるよう、その制限を解除しようと考えています。今後も、児童がより本に親しむ機会がふえるよう環境を整備していきます。

【質問8】　お子さんは、家庭学習（宿題・自主学習等）に毎日取り組む習慣ができていますか。



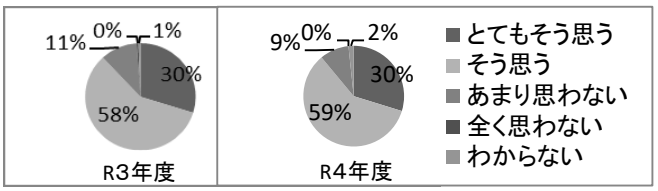
【肯定76％】本校では、宿題を毎日出すことと、朝必ず提出する習慣を全学年共通して指導することとしています。３年生以上の学年では、自主学習を週１回提出することとし、取り組んでいます。保護者の方が、少しの時間でもお子さんの家庭学習を見てくださることが、子供たちの一番の励みとなり力を伸ばします。学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化を図っていきたいと思います。

【質問9】　お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できていますか。



【肯定45％】本町小学校の子供たちはテレビやゲーム、ネット等への依存傾向があることが、アンケート結果に顕著に表れています。学校では、今年度も「タブレット５つのルール」や「クラスルームの書きこみ　３つのルール」を基に指導してきました。現代を生きる子供たちの生活と、メディアやSNSとの関わりは切り離せない時代になっています。テレビやゲーム等との根本的な関わり方の改善には、ご家庭の協力が不可欠です。お子さんの健やかな成長のため、学校と家庭で共通の課題意識をもち取り組んでいきたいと考えます。

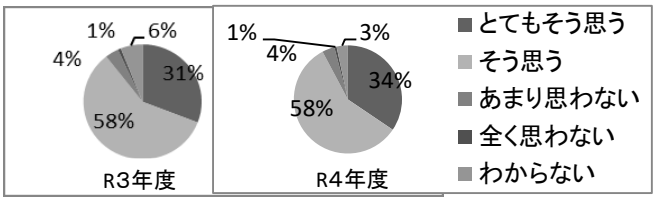
【質問10】　ご家庭では、お子さんのよいところを話題にしていますか。



【肯定89％】学校でも自宅でも、子供たちは日々いろいろなことに努力し、挑戦しています。「苦手なことでも投げ出さず座って取り組めている。」や「約束を守るため、葛藤しながら努力している。」など、小さなことでもその努力を保護者が理解し、認めてくれていることで子供の自己肯定感は高まります。自己肯定感の高い子は、多少のことではくじけない、たくましい子に育っていきます。学校でも家庭でも、たくさんの温かい言葉をかけて自己肯定感を高めていきたいと考えます。ご協力をお願いいたします。

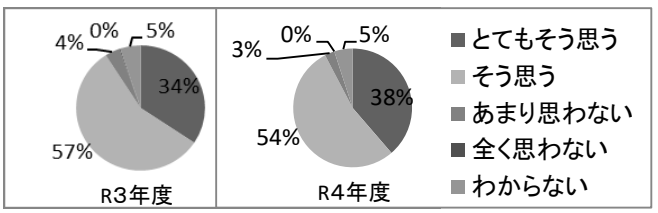
＜学習指導・生活指導＞

【質問11】　学校は、授業の工夫や補習など、学力向上に努めていると思われますか。



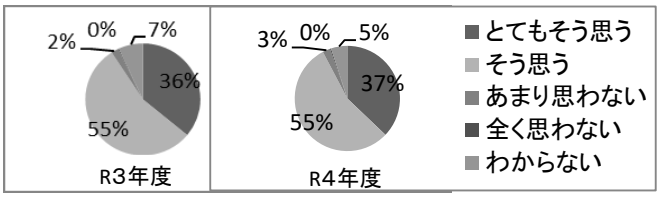
【肯定92％】授業では、タブレットや実物投影機の活用、ホワイトボードや付箋などの思考ツールの活用をしたり、ゲストティーチャーを呼んで専門性の高い学習の場を設けたり、積極的に校外に出て学習をしたりするなど、児童の主体性を引き出す工夫を心掛けました。また、３・４年生を対象に、基礎・基本の定着を目指して、児童一人に教員が一人マンツーマンでつく形で、年間１５回学習する本町っ子タイムも実施しました。各学年でステップアップタイムも行い、学習内容を補完しています。来年度も引き続き、一人一人にきめ細やかに指導ができ、学力向上が図れるよう授業改善に努めます。

【質問12】　学校は、礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいる。



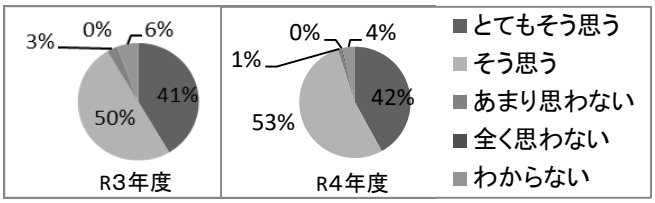
【肯定92％】以前は本町小の子どもたちは、あいさつに課題があると地域の方や交通養護員の方々から聞くことがありました。そこで、昨年度から「朝のあいさつ運動」を代表委員と高学年を中心に始め、今年度は代表委員と全学年で８月を除く全ての月にあいさつ運動を実施しました。地域の方からも「本町小の子供たちの挨拶がよくなりました。」と褒めていただくことも増え、児童の中にも本町小学校のよさとして「気もちのよいあいさつ」が定着しています。今後は「おはようございます」だけでなく、日常のさまざまな場面ですすんであいさつができる児童の育成に努めていきます。

【質問13】　学校は、健康・安全に対する生活指導が適切に行われていますか。



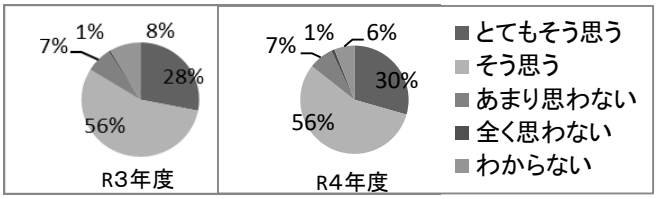
【肯定92％】毎月１回安全指導朝会を実施して、安全に対する注意喚起を行っています。また、毎学期１回、下校時に教員が一緒に通学路を歩き、危険個所について職員間で共有しています。今年度はさらに、６年生の通学の様子を撮影した動画を視聴し、正しい歩行の仕方について全学年で学びました。学区域には大きな道路に面している通学路もあります。歩道の歩行に課題のある児童の様子も見られていますので、今後も交通事故防止のための指導を続けていきます。地域の中でも、子供たちを見守っていただきますようお願いします。

【質問14】　学校は、震災や火災に備えての訓練を実践的に行っていますか。



【肯定95％】コロナ禍になり、昨年度まで全校が会する避難訓練の実施は見送ってきましたが、今年度は外に避難するものに関してはコロナ前と同じように実施することができました。避難訓練ではいつどこで被災するかわからない状況でも対応する力が身に付くよう、授業時間内だけでなく、休み時間や朝の時間などにも行っています。二次災害を想定して保谷中学校への避難訓練も実施し、万が一に備えています。６年生は、消防署の協力を得て煙体験も行っています。

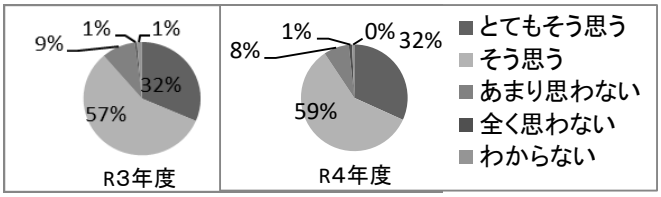
【質問15】　学校は、校舎内外の清掃や施設整理など、学習環境の整備がされていますか。



【肯定86％】昭和５４年開校ということもあり、校舎、教室、階段の各所で老朽化が進んでいます。教育委員会に要望を行い、毎年少しずつ設備改善がなされています。昨年度は廊下照明を全てLEDに交換し、今年度は体育館の照明の改修とエアコンの設置、校舎内トイレの改修工事を行いました。また、今年度も「おやじの会」の皆様に、児童の椅子の脚にはめるテニスボールを準備していただきました。これからも市への改修依頼を継続すると共に、保護者の皆様の力をお借りしてできることを進めたり、教職員が掲示物や物品等の整理整頓や掃除を心がけていったりすることで、整った環境づくりを目指してまいります。

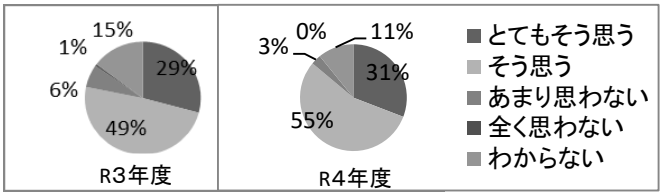
＜教育方針＞

【質問16】　学校からの情報伝達（学校だより・学年だより・保健だより・給食だより・図書館だより・ホームページ等）は、分かりやすいですか。



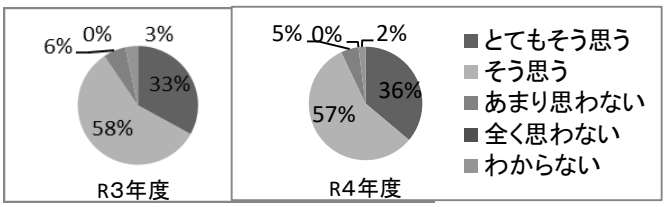
【肯定91％】本校の学校経営方針については、学校便り、HP、４月の保護者会等でもお伝えして参りました。９割を超える保護者の皆様に肯定的な回答をいただきました。コロナ禍の中で少しでも学校教育を理解していただこうと考え、ほぼ毎日ホームページを更新し、どのような学校づくりを目指し、どのような教育活動が行われているかお伝えして参りました。今後も継続していきますので是非ご覧いただき、本町小の教育へのご理解とご協同をお願いいたします。

【質問17】　学校は、道徳授業や学校生活全般において、いじめをなくすよう努力していると思われますか。



【肯定86％】いじめアンケートによる聞き取りを毎学期１回行ったり、スクールカウンセラーによる全児童面接を行ったり、学期の始めに担任と児童との面談を行ったりすることで、いじめの早期発見に努めると共に、安心して登校できるよう配慮しています。肯定的なご意見が昨年度より８ポイント増えました。来年度も引き続き一人一人の声を受け止める取組を行い、いじめを防ぎ、早期発見・早期対応、未解決ゼロに努めます。

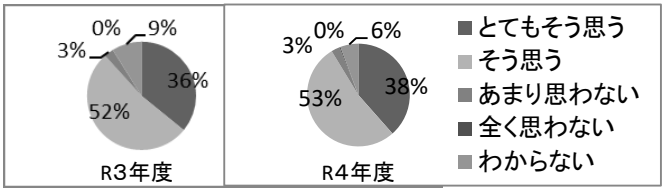
【質問18】　学校は、保護者会・個人面談・授業公開・学校行事等、保護者との交流の機会を設け、開かれた学校づくりに取り組んでいると思われますか。



【肯定93％】昨年度までは感染症拡大防止のため、市内のどの学校も多くの交流の機会が中止となりました。しかし今年度は、予定されていた行事に関しては全て実施ができました。特に１１月に実施した「音楽会」は、コロナ禍になってから初めて行う屋内での保護者向けの発表会でした。発表学年に合わせて保護者入れ替え制で実施しましたが、スムーズに進行することができました。音楽会だけでなく、保護者会や個人面談など、さまざまな場面で保護者の皆様にはご理解、ご協力いただきました。ありがとうございました。来年度も、開かれた学校の理念をもちながら、児童の健康や安全も確保できる実施方法を模索してまいります。

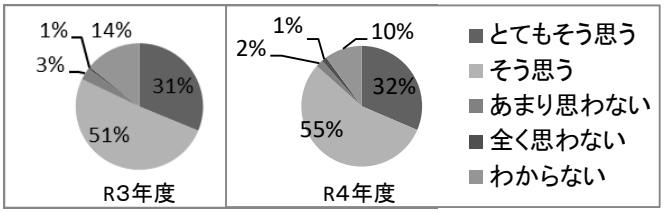
＜地域・保護者との連携・開かれた学校づくり＞

【質問19】　学校はお子さんや保護者が相談したときに、誠実に応じてくれていると思いますか。



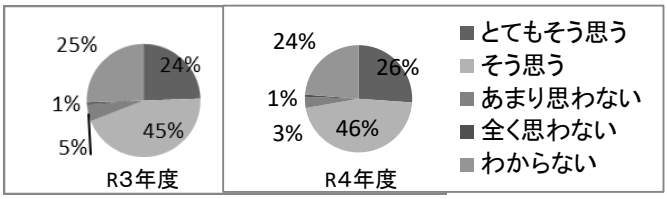
【肯定91％】お子さんの健やかな成長について、学校と保護者の両者が協力し合うことで大きな教育効果が得られ、子供の安心につながると考えます。今後も子どもたちや保護者の悩み・相談にしっかりと耳を傾け、積極的に応じる学校を目指しているということを保護者会や学校便りを通して広報し、全教員で実践してまいります。

【質問20】　学校は保護者や地域の皆様の声にこたえようとしていますか。



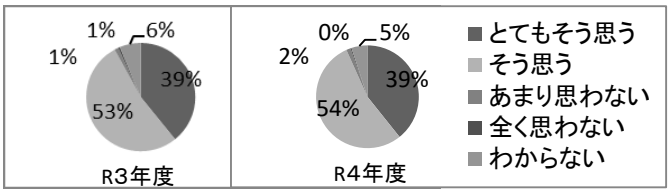
【肯定87％】肯定的な評価を多くいただきました。ありがとうございます。ご提出いただいたアンケートは全ての教員が目を通しています。今年度は、コロナ禍の制限がある中ではありましたが、さまざまな行事や取組を予定通り実施することができました。今後も、保護者・地域・学校が協同しながら学校を創っていくことを大事にしたいと考えております。この学校評価の結果も来年度の計画に生かしてまいります。

【質問21】　学校は閉庁日の設定や留守番電話の活用により、働き方改革を進めていると思いますか。



【肯定72％】夏季休業中に閉庁日を１週間設けて休暇を取得しやすくしたり、１８時半以降は留守番電話にして残った業務に集中できるようにしたり、会議の精選を行ったりしています。適切な休暇取得や、過度な残業とならないようにすることは、細やかに児童の様子を捉え指導に生かしたり配慮をしたりすることに繋がると考えます。今年度の取組を継続しつつ、来年度も働き方改革を進めてまいります。

【質問22】　学校の電話や訪問時における応対は適切ですか。



【肯定93％】保護者の方や本校に来校された方みなさんが安心できたり本町小を信頼したりすることにつながるよう、電話や訪問時における対応については「先　挨拶」「先　笑顔」をモットーに、全教職員で取り組んでいます。来年度はより一層心掛け、子供たちの手本となる、率先垂範で行動する教職員集団を目指します。

2学期にご依頼しました「学校教育に関するアンケート」は、大変多くのご家庭から提出していただきました。ご協力に深く感謝いたします。アンケートの自由記述に書かれた内容は全教職員で共有しています。成果や課題の原因を分析し、来年度の教育活動の充実と向上に努めてまいります。下記に、アンケートの結果やいただいたご意見について学校の基本的な考え方をまとめましたので、ご覧ください。

■全体的に「とてもそう思う」の割合が増えました。これまでの地道な教育実践が、子供たちの姿を通して伝わっていることを嬉しく思います。

■校舎の老朽化、特にトイレ周辺の環境について、毎年ご意見をいただいてきましたが、今年度ようやく改修工事を行うことができました。一時的に各階２か所のトイレが１か所になる期間があり、２学年で共用していましたが、子供たちは互いに譲り合い上手に使うことができました。せっかくきれいになりましたので、子供たちにはトイレをきれいに使うことの大切さも指導していきます。

■１０月に行った「本町小スポーツの日」は、昨年まで子供たちも学年入れ替え制で実施してきましたが、今年度は全校児童が一堂に会して実施することができました。上級生は役割をしっかりと果たし、下級生は上級生の徒競走やリレー、表現を見たり、係児童としてきびきび働く姿を見ることができたりするなど、多くの学びがありました。何より、たくさんの声援の中、競技に参加できることに子供たちも喜びを感じていました。　１１月に行った「音楽会」には、とても多くの保護者の方々にご参観いただくことができました。コロナ禍で、屋内で集合する行事に関しては自粛や中止が続いてきましたが、久しぶりに舞台で輝く子供たちの様子をみていただく機会となりました。コロナ禍で入学となり大きな学校行事の経験が乏しい学年の子供たちも、行事に向かう集中力と団結力は、以前と全く変わらないことに驚かされました。来年度も、新型コロナウイルス感染症の動向をみながら、実施方法について検討していきたいと考えております。

■アンケート調査結果から、本校は全体として、比較的読書量が少なく、テレビやゲームに費やす時間が多い傾向が見られます。また、やりすぎないように調整できている子とそうでない子の二極化が見られます。学校と家庭で意識を共有し、連携して小学生時代の時間を大切に過ごさせたいと思います。

■引き続きの新型コロナウイルス感染症への対策や、コロナ禍での行事の運営について、たくさんの感謝の言葉もいただきました。今後も保護者の皆様のご協力をいただきながら、子供たちの笑顔輝く、安心して過ごせるよりよい学校を目指してまいります。近年の教育課題に対しては、学校・家庭・地域がそれぞれ当事者意識をもち、同じ方を向いて協力して取り組む必要性を感じます。これからもご協同・ご協働のほど、よろしくお願いいたします。